

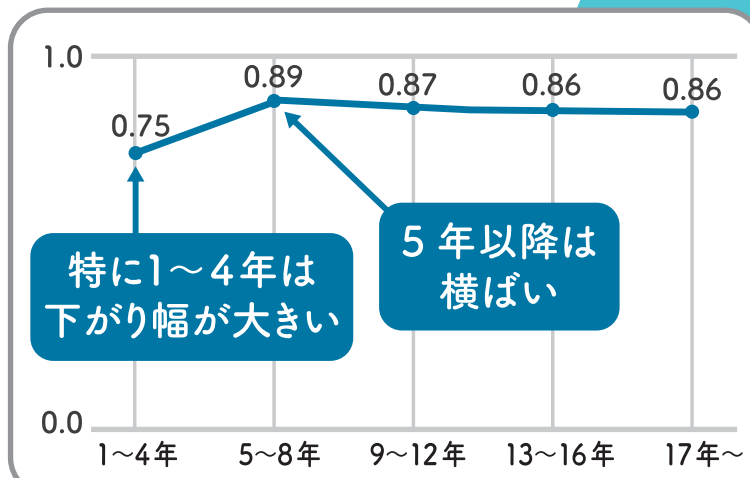
有機食品はなぜ高い？

未来に繋がる価値ある選択を

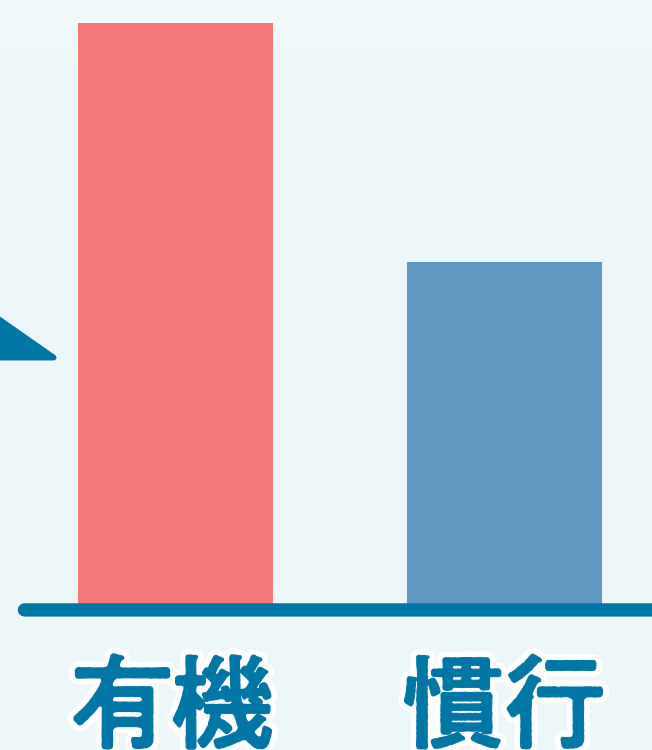


収量が下がる

化学肥料・農薬を使わないため
収量が下がる



有機農産物は
慣行農産物に比べて
1.5倍～1.8倍
の価格差があります



栽培コストがかかる

除草剤や
殺虫剤などの
化学農薬を
使用しない

雑草対策、
害虫対策などに
手間がかかる

除草作業の時間が増える

転換期間を要する

「有機」と名乗れるのは、
有機栽培を始めてから
2年以上経った
農産物のみ

有機 JAS 認証を
取得するためには、
2年間以上*、
ほ場が有機的管理を
されていることが条件

つまり！
有機的管理
1～2年目は、
有利販売は
できない

※ 単年生作物は2年、多年生作物は3年

このマークが目印！



1年目

2年目

3年目

栽培コスト上昇・収量低下の2重苦
なのに有利販売はできないという状況

流通コストがかかる

生産者一人あたりが
負担する流通コスト
が大きい

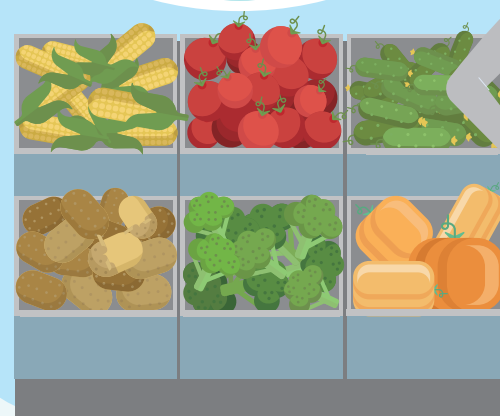
宅配便などを
使って店舗に
納品

有機農産物は「慣行農産物より高い」「慣行農産物ほどまとまった量を調達できない」「慣行農産物ほど安定的に調達できない」という理由から、
小売店はロスを懸念し、取扱量を増やせない

慣行

有機

小売店は
有機農産物を
取り扱いにくい



生産者の利益を確保しつつ、有機農産物を消費者の手の届きやすい価格で供給できるよう、
農林水産省は、有機農産物の流通効率化等に取り組んでいます。

環境にやさしい農業に取り組む生産者を応援するために、有機農産物・食品の積極的な選択をお願いします。